

## 京都市オープンデータポータルにおける地理空間情報の活用

京都市

**キーワード** 京都市、オープンデータ、地理院地図

**オープンデータ**とは、二次利用が可能なルールで、かつ機械判読に適した形式で公開されたデータのことです。

京都市では、市が保有する様々なデータについて、「市民協働の促進による市民サービスの向上」「地域経済の活性化」「行政の透明性・信頼性の向上」を目的として、オープンデータ化の推進に積極的に取り組んでいます。

京都市のオープンデータは **京都市オープンデータポータルサイト KYOTO OPEN DATA**にて公開しています。



<https://data.city.kyoto.lg.jp/>

行政が公開するオープンデータには、「公衆トイレ」「AED 設置場所」「指定避難所」「国勢統計区（学区）領域」など、地理空間情報を持つものも多数存在します。またこれらのデータを有効に利用するためには、地図と組み合わせ、視覚的に捉えることが重要です。京都市では、ポータルサイトのシステムに国土地理院が提供しているウェブ地図を組み込み、地理空間情報を持つあらゆるデータの視覚化を実現しました。

